



体育祭、櫛祭と2学期の大きな行事が終わりました。朝晩は冷え込む日もあって、体調管理に気をつけたい季節ですね。図書室はただいま読書週間真っ最中です。秋の新着図書も届いています。また、特集コーナーでは10月に引き続き「旅」や「冒険」の本を展示しています。行事や面談などで図書室を訪れる十分な休み時間がありませんが、今まで手にとっていなかった新しいジャンルにも挑戦してみましょう！

返却してください

～図書室の返却の話をきっかけに見直してみよう、普段の生活の責任感～

夏休み前に借りた本を返していない人がいます！

9月中の返却が遅れている人もいます！

図書だよりで、このようなお知らせをするたびに残念な気持ちになります。うっかりしたり、行事などの関係で遅れてしまうことがあったとしても遅れすぎです。

「きちんと返却すること」は図書室と借りていった人との間で交わす大切な約束事です。督促状をもらったにもかかわらず、直接返しに来ないで友達や先生に本を預ける人がいます。約束が守れなかったのに一方的に終わったことにしてよいのかな？

1日遅れでも「すみませんでした」と急いで返しに来る人だっているのです。

責任感を持って生活することは図書室利用のことだけに限りません。提出物の期限や友達との約束など、「まあ、いっか」ですませていますか？そういう人たち、余計なお世話と思うかもしれませんが心配です。

募集します

牛乳パックつめつめ隊

図書室に本を並べるときに使う、奥行きを調整するための箱が必要です。牛乳パックの中に詰め物をして、最後に包装して作っています。

この箱を作ってくれる人を募集します。

募集の決まりは以下のとおりです。

※事前の申し込みは必要ありませんが、約束をよく読んで当日集まってください。

日時：11月11日（火）、14日（金）の帰りの学活終了後～15時

三者面談中の司書の勤務日です。予定変更により作業や図書室開放が中止になる場合は図書室の扉の張り紙でお知らせします。

場所：図書室

参加できる人：三者面談の予定日で面談の時間まで待ち時間がある人（1、2年生対象）
学習室に行くなど、課題がある人は参加できません。

約束：担任の先生に図書室で作業をすることを伝え、面談時間を確認していただくこと
お願い：新聞紙を持ってきてくれると助かります。

隣の教室は面談中です。静かに作業してください。

* この日は図書室も通常開放しています。本を読んで待つこともできます。
また、保護者の方のご利用もできますので、お時間がある方は、中学校の図書室の様子もご覧いただければと思います。

11月の開館予定

★（ ）内は昼休みの学習委員当番クラスです。

時間は図書室前の掲示板で確認してください。予定が変更になる場合もあります。

月	火	水	木	金
3日 文化の日	4日 開館 (なし)	5日	6日 開館 (なし)	7日 開館 (なし)
10日	11日 開館 (なし)	12日	13日 開館 (1-4)	14日 開館 (なし)
17日	18日 開館 (2-1)	19日	20日 開館 (なし)	21日 開館 (2-2)
24日 振替休業	25日 開館 (2-3)	26日	27日 開館 (なし)	28日 開館 (なし)

裏面へGO!

新着図書紹介

図書室は知識の宝箱！知らなかったことに会おうとわくわくしますね。
この秋の新着は特に見て楽しい本がたくさん入りました。なるほど！の世界へようこそ。

『おかしな建築の歴史』

NDC520イ

(五十嵐太郎/著 エクスレッジ)

世界には個性的な建物がたくさんあります。司書が先日訪れたホキ美術館も、どうやって建てたのだろうと不思議に思う建物でした。

この本にはそんな建物がたくさん紹介されています。

建築家の発想力と実際に建ててしまう技術力のすごさに圧倒されます。

『英語では「ホニャララ」と言います。』

Say It Right 学校では教えてくれない普段使いの英語表現』

NDC837エ (朝日新聞出版)

カタカナで表されている言葉は英語だと思いませんか？和製英語という日本で作られた英語や、本来とは違う使い方をしている言葉もたくさんあるそうです。

問題です。次の言葉は正式な英語ではなんと言うでしょう。

- ① シャープペンシル
- ② ハイソックス
- ③ ガソリンスタンド

★答えは「意外に知らない！？小テスト」のページで探してみよう。



今回の読み物の本は自分と向きあえるようなじっくりと読める作品が多いかなあ～。

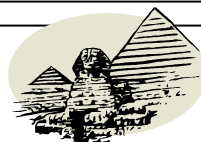
『ボグ・チャイルド』 NDC 933ダ

(ジョン・ダウド/作 ゴ布林書房)

舞台はイギリスからの独立を目指す北アイルランドの田舎町。紛争から抜け出すため、大学進学に向けて勉強中のファーガスだったが、ある日ボグ（湿地）で少女の遺体を発見する。歴史的な時代背景があるので難しく感じるかもしれませんが、逮捕されている兄との関係やいさかいに加担せざるをえない追い込まれた状況と恋の行方など、先が読めない展開に引き込まれます。見つかった遺体の謎も物語とリンクするように明らかになっていきます。読み応えのある1冊。

『図説 ピラミッドの歴史』 NDC242オ

(大城道則/著 河出書房新社)



謎に満ちたピラミッド。電気や工事車両がない時代にあんなに大きな物をどうやって作ったのでしょうか。

建物の方角を合わせたり、崩れないように石を正確に積み重ねられたりしています。しかも中には棺をおさめる部屋まであるのですから。

多くの研究者が心を奪われるのが分かります。

↓ピラミッドつながりで、こちらの本もいかが？

『数え方の辞典』 NDC815イ

(飯田朝子/著 小学館)

数を数えるときは「単位」を使います。どんな単位で数えるのかが分かる辞典です。単位に使われる言葉や使い方なども分かります。上で紹介した「ピラミッド」を数えるときの単位は何だか分かりますか？ピラミッドを数える機会なんてめったにないけれど知っていたらちょっぴり賢くなった気分♪



同じく学校を舞台にした『原真いながら、祈りながら』(乾ルカ/徳間書店)もいいですよ！

『ぼくのニセモノをつくるには』 NDC Eヨ

(ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社)

司書もはまった前作『りんごかもしれない』の作者が送る絵本。「ぼく」は、やりたくないことをやらせようと自分の身代わりにさせるロボットを買います。

「ニセモノ」を作るには「本物」のことをよく知っていなければいけません。そうロボットに言われた「ぼく」は自分のことを説明しようとするのですが・・・。

かわいらしい絵柄とユーモアたっぷりで、とても楽しく読めます。

『雨の降る日は学校に行かない』 NDC 913ア

(相沢沙呼/作 集英社)

どうして、うまくやっていけないのだろう。悪いのは自分なのかな。そんなふうにならぬ人との付き合いの中でしんどくなったことはないですか？学校という小さな世界では、この本に出てくる状況は特別ではなく日常であると思います。

作中に出てくる「生きにくい子」という表現はとても悲しい言葉です。登場人物はつらい思いを抱えています。いくつかの短編が集まった本なので、気持ちが重くなりすぎず読めます。

●これらの本は特集コーナーにあります。その他にもたくさん本があるのでお楽しみに。紹介カードをかいてくれる人は司書まで声をかけてください。用紙を渡します。